



桜丘小たより

= 笑顔に会える学校 =

令和元年7月19日

第 5 号

枚方市立桜丘小学校

校長 中村 尚

<https://www.city.hirakata.osaka.jp/0000007788.html>

TEL 050-7102-9028

なつやすみ さあ夏休みがはじまります

なつやすみ なつやすみ おうち がくしゅう がっこう どうこう
さあ夏休みですね。夏休みにはお家での学習になります。学校には登校しません
が、みなさんがせいちょう たいせつ たいせつ おうち だいじ きかん
成長するために大切なことをお家でやる大事な期間です。

1, いつもの生活をしましょう

あさ らじおたいそう ちく さんか よる
* 朝のラジオ体操を地区ごとにやっています。できれば参加しましょう。夜はいつもの
じかん ねる
時間に寝るようにしましょう。



2, 学習をがんばりましょう

いちがっき がくしゅう ふりかえり ふくしゅう じぶん ちから
* 一学期の学習を振り返り、復習をして、自分の力としましょう
しゅくだい けいかくてき すませましょう
* 宿題は計画的に済ませましょう
じしゅてき がくしゅう きょうみ じゅうけんきゅう
* 自主的な学習をしましょう(興味のあることの研究をしましょう)

3, 体験をしましょう

かてい じぶん しごと
* 家庭における自分の仕事をしましょう
ちいき おまつり ぼんおどり ぎょうじ さんか
* 地域のお祭りや盆踊りなどの行事に参加しましょう



4, 事故にあわないこと

こうつうる ー る まもる じてんしゃ うんてん ちゅうい
* 交通ルールを守ること 自転車の運転には注意すること
あぶない ちかづかない
* 危ないところには近づかないこと
しらないひと ちゅうい
* 知らない人に注意すること
かわ いけ あそばない
* 川や池で遊ばないこと
ねっちゅうしょう き
* 熱中症に気をつけること



わたしはみなさんがなつやすみ たいけん たいけん おもって ちしき
夏休みにはいろいろな体験をしてほしいと思っています。知識とし

しって しゃしん みた てれび みた まるまる いった じっさい みる
て知っている、写真で見た、テレビで見た、〇〇さんが言っていたではなく、実際に見る
こと、触れること、確かめることがとても大切だと思っています。自分自身が見て、
さわって たしかめて うえ じぶん たしか ちしき
触って、確かめて、その上で自分の確かな知識としていってほしいと思います。

でも、なかなか体験することができないこともあるでしょう。そんなとき実際に体験する
のと同じようになれるのは読書です。本を読むことで、いろいろな経験を体験すること
ができますので私のおすすめです。学校で学ぶことだけではなく、お家で・地域で学ぶ
こともたくさんあると思います。長期の休みはこのためにもあるのです。ゲームなどの時間
はしっかりと決めて遊ぶとともに学習もがんばってくださいね。

考えてほしいこと

いじめはいけないことだとみなさんはわかってくれていると思います。でも、いじめはな
かなかなくなりません。そこですこしわたしからみなさんに考えてほしいことを書きます。

「だって あの子にもこんな悪いところがあるんやで」

ちくちくことば ひと きもち きずつけることば きもち ことば いったひと
チクチク言葉(人の気持ちを傷つける言葉 いやな気持ちにさせる言葉)を言った人に
ちゅうい ことば かえって わるい いった
注意をするとこんな言葉が返ってきました。悪いところがなおるように言ってあげればい
いんですけど、そうせずに、ちくちくことば いう ひと ちくちくことば
使いたいから使ったんです。理由を探して、自分は正しいと言いたいのでしょう。その
ひと わるい さがして まわり ひと ひろげて ひと ちくちくことば いう
人の悪いところを探して、周りの人に広げて、たくさんの人からチクチク言葉を言うのは、
もうそれはいじめです。いじめられる
ひと りゆう まったく
人にも理由があるというのは、全く
まちがって がわ
間違っています。いじめる側がいじめ
をする理由をつけているだけです。
わるい ひと
悪いところがあるのなら、その人のた



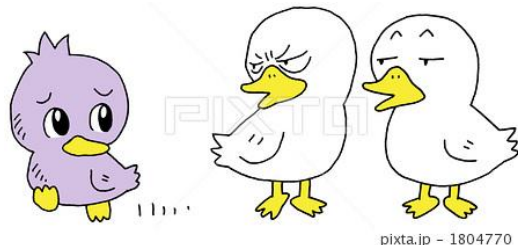
めに注意することができるはずです。人は完璧ではありません。誰もが悪いところをもっ
ています。いじめることはどうしても正しいことにはなりません。また、LINE や SNS・チャット

などでのトラブルが絶えませんが、それを嫌がらせに
使うのは許されるものではありません。みなさんは、正しい利用をしてくださいね。

「わたしも言われたことがあるけど 気にしないし」

「きしょー」と言われて、学校へ来にくくなった人がいました。そこで、言った人に話をしましたが、言った人は「わたしもよく言われるけど 気にならないし 別にわたしがわるいわけではない」と言いました。そして別の言った人は「私たち同士でよく言うよなあ 別に気にしいひんやんなあ」「うん 気にしいひん」と言いました。

一人からだけ言われても、気になる「きしょー」というチクチク言葉。親しいあいだからチクチク言葉にならないかもしれません。でも、想像してください。たくさんの人から次々に「きしょー」というチクチク言葉をかけられたらどんな気持ちになるのかを。これもいじめです。そして、いじめた側はそんなにたいして悪いことをしているという気持ちにはなりにくいんです。チクチク言葉を多くの人がかけているので、自分のせいで学校へ来にくくなったと想像できないのです。これもいじめの大変おそろしいところなのです。みんなといっしょにするので、自分の悪いところをほんの少ししかかんじられないのです。



ゆうき 勇気をもってほしい

わたしはみなさんが正しい心を持ってほしい、育ててほしいと願っています。そして、みなさんのまわりで、チクチク言葉を使っている人がいたら、「そんな言葉をつかったらあかん」と言ってほしいんです。そして、気持ちが傷ついている人がいたら、「わたしがいるから大丈夫」と言ってほしいんです。言えなくてもいいから、傷ついている人がいたら一緒にいてほしいんです。そして、「〇〇さんって、あんなんするから悪いやんなあ？」といわれたら、「そう思わない」と正しいことを言ってほしいんです。それにはとても勇気がい

るとおもいます。でも、その^{ゆうき} 勇気は^{ぜったいひつよう} 絶対必要なんです。わたしはみなさんが^{ゆうき} 勇気をもつてほしい^{おもって} と思っています。

ほごしゃ 保護者のみなさま

みなさまの^{ごきょうりよく} 協力のおかげをもちまして、^ぶ 無事^{じしゅうぎょうしき} 終業式を^{むかえる} 迎えることが^{できました} 出来ました。誠に^{まこと} ありがとうございます^{ござ} ございました。

^{じょうき} 上記のなかで^{かきましたとおり} 書きました通り、^{ちゃつと} LINE や SNS・チャット・YouTube などを^{つうじまして} 通じまして、^{ゆうじんかんけい} 友人関係の^{とら} トラブルが^{おこる} 起こるといのが^{こどもたち} 子ども達が^{おかれて} 置かれております^{げんざい} 現在の^{じょうきょう} 状況です。特に、^{とく} 高学年になり^{こうがくねん} ますと^{ひじょう} 非常に^{おおく} 多くなります。さらには^{ちゅうがっこう} 中学校でも^{おおきな} 大きな^{かだい} 課題とな^{ねつと} っております。ネットには^{とくめいせい} 匿名性があり、^{ひじょう} 非常に^{だいたん} 大胆な^{いけん} 意見を^{のべる} 述べる方も^{かた} おられます。さらには、^{ねつと} ネットに^{かきこまれた} 書き込まれた^{ぶんしょう} 文章、^{けいざい} 掲載された^{しゃしん} 写真は^{つぎつぎ} 次々と^{だれ} 誰かが^{こピー} コピーする^{かのうせい} 可能性があり、^{えいえん} ほぼ^{きえる} 永遠に^ぜ 消えることは^ひ ありません。そのようなことを^{おこ} 是非^{おこ} お子^{さま} 様にお話^{おはなし} いただき、^{けんぜん} 健全な^{ねつと} ネットの^{しょう} 使用を^{おねがいます} していただくよう^{おねがいます} お願い致します。

さて、^{ふだん} 普段から^{ごかてい} ご家庭で^{おこさま} お子様^{かていせい} に^{やくわり} 家庭生活での^{はいぶん} 役割を^{ぞんじます} 配分されて^{ぞんじます} いただけるかとは^{ぞんじます} 存じます。なつやすみ ^{よいきかい} よい機会^{かぞく} ですので、^{いちいん} ぜひ、^{せいかつ} 家族の一員として^{おくって} 生活を送っているという^{じっかん} 実感^{えられる} を^{くふう} 得られる工夫^{おねがいます} を^{おねがいます} よろしく^{かてい} お願い致します。家庭での^{やくわり} 役割^{ぶんたん} 分担を^{ねがいます} ぜひ^{おねがいます} お願い致します。

^{ちょうき} 長期の^{やすみちゅう} 休み中^{いたましい} には^{じこ} 痛ましい^{はつせい} 事故が^{ばあい} 発生する^{とく} 場合がございます。特に^{おこさま} お子様には

- ^{こうつうる} 1, 交通^{ーる} ルールを^{まもる} 守る(特に^{じてんしゃ} 自^{うんてん} 転車の^{うんてん} 運転)
- ^{すいなんじ} 2, 水難^{こぼうし} 事故^{みずべ} 防止(水^{ちかづ} 辺に^か 近づかない)
- ^{しらない} 3, 知らない^{ひと} 人^{ちゅうい} には^{ちゅうい} 注意^{ちゅうい} をする

^{ごかてい} をぜひ^{ごちゅうい} ご家庭^{おねがいます} におかれ^{おねがいます} しても^{おねがいます} ご注意^{おねがいます} いただきますよう^{おねがいます} お願い致します。